

日高川町地球温暖化防止実行計画

区域施策編【概要版】

令和6年3月

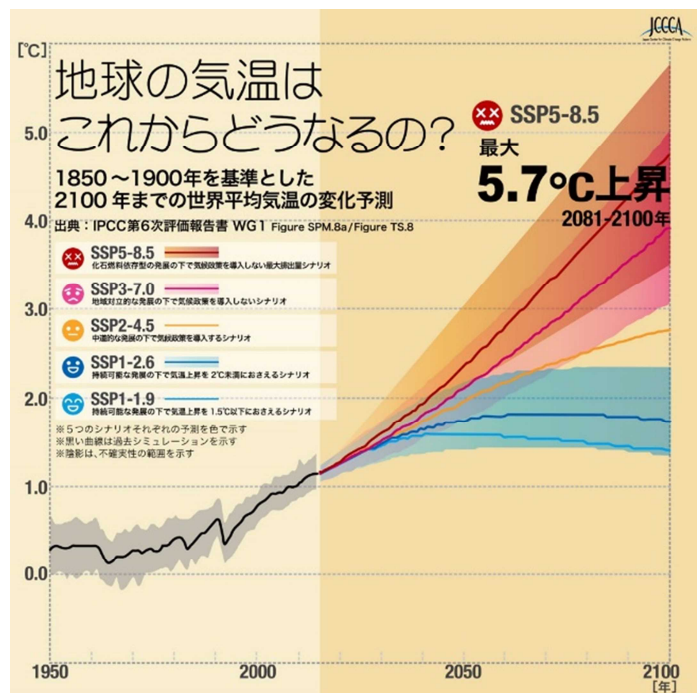
日高川町

①地球温暖化問題

地球温暖化問題とは、人為的に「温室効果ガス」が大気中に大量に放出され、地球全体の平均気温が急激に上がり始めている現象です。

温室効果ガス濃度がさらに上昇し続けると、今世紀末までに工業化以前と比べて3.3～5.7℃上昇すると予測されており、以下のような影響が懸念されています。

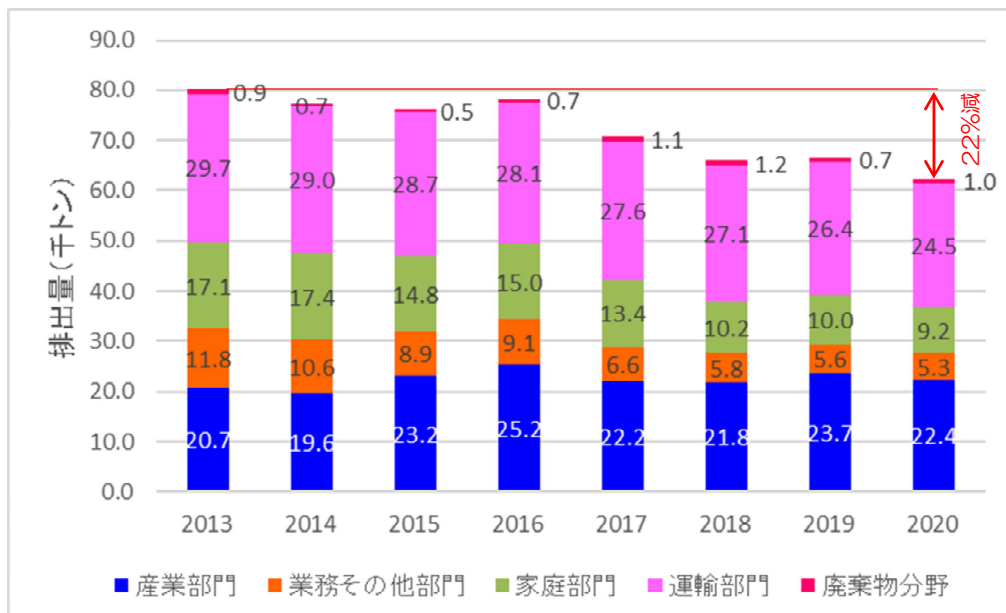
- 気候メカニズムの変化による豪雨や猛暑等の異常気象が頻発、災害の激甚化
- 海水の膨張や氷河などの融解による海面上昇、砂浜・干潟消失
- 気候変動や水不足による食料生産への影響
- 生態系への影響
- 熱中症、ヒトスジシマカが媒介する感染症の増加等の懸念



出典：全国地球温暖化防止活動推進センター ホームページ

②現状の日高川町の温室効果ガス排出量

日高川町の温室効果ガス排出量を以下に示します。日高川町の温室効果ガス排出量は2013年度で80.2千トン、2020年度は62.4千トンであり、7年間で約22%の減少（2013年度比）となっています。排出量の割合としては、部門別では運輸部門が最も多く、次いで産業部門、家庭部門の順になっています。



日高川町における温室効果ガス排出量の推移

③日高川町における温室効果ガス削減目標

日高川町の温室効果ガス削減目標を以下に示します。

中期目標（2030年度）：温室効果ガス排出量46%削減（基準年2013年度）

長期目標（2050年度）：森林吸収を含めてカーボンニュートラル

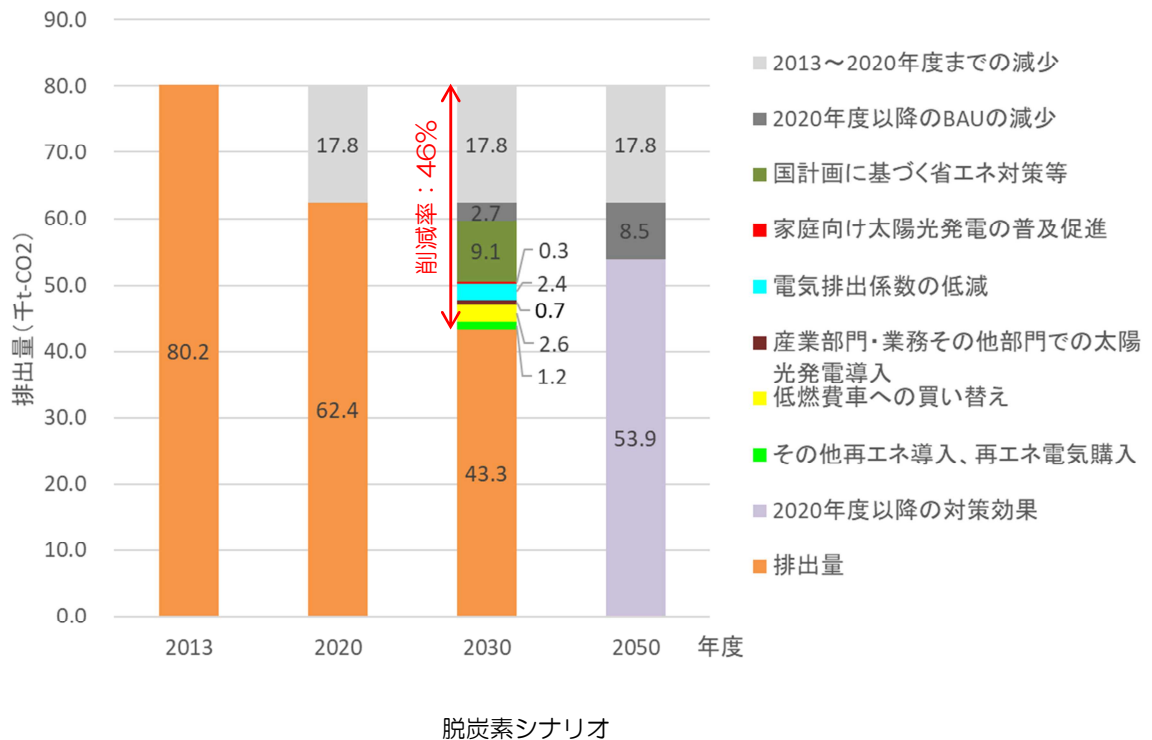
さらにカーボンマイナスを目指す

	中期目標（2030年度）	長期目標（2050年度）
排出量削減目標	46%削減 (2013年度比)	森林吸収を含めて カーボンニュートラル さらにカーボンマイナスを目指す
日高川町内での 取り組み	ゼロカーボン実現に向けた行動 変容・意識改革の推進 再エネ導入の促進、省エネ促進 ZEB,ZEHの促進 省エネ車導入 バイオマスの導入 森林吸収対策の促進	ゼロカーボン社会の実現 再エネの主力電源化、エネルギー の地産地消 ZEB,ZEHの達成 交通の脱炭素化達成 バイオマスの一般的な利用 炭素吸収量取引による貢献

④将来の日高川町の温室効果ガス排出量

対策時の将来における温室効果ガス排出量推計結果を下記に示します。

基準年である2013年度の排出量は80.2千トン、2020年度の実績は62.4千トンであり、この期間で22%減少しています。2030年度には、2013年度比で46%削減を目標としています。



⑤温室効果ガス排出削減等に関する対策・施策

日高川町、事業者、町民に期待される対策を以下に示します。

1. 太陽光発電の普及

- 住居等の建物屋根、未利用地、農地への太陽光発電の導入を図ります。
- 将来的には町の公共施設の100%、戸建て住宅の大部分に太陽光発電が導入されていることを目指します。
- 町の避難所については太陽光発電及び蓄電池を整備し、再エネ導入と防災機能強化を図ります。



出典：日高川町ホームページ 自然エネルギーの町づくり

2. 省エネ促進

- 照明のLED化、EMS（エネルギーマネジメントシステム）導入、省エネ機器への買い替えを積極的に図ります。
- 将来的にはLED照明が100%になっていること、省エネ機器の選択、EMSが一般的になっていることを目指します。

②家庭用照明 LED化推進事業

一般家庭における電気使用量の削減及び温室効果ガスの排出量の削減を図るため、LED照明等（電球・蛍光灯・シーリングライト）を新たに設置・交換する際の器具購入費及び交換に伴う工事費に対する補助事業。

◎補助対象者

- ・日高川町に住所を有し、かつ居住する世帯主。
- ・町税及び使用料等を滞納していないこと。

◎対象要件

- ・設置及び交換は居住部分とする。（倉庫・納屋・物置・駐車場等は対象外）
- ・経費の合計が10,000円以上であること。
- ・アパート及び借家ではない戸建住宅であること。

◎補助額

上限額：100,000円（対象経費の1/2）

◎申込み期間

令和4年4月1日～（申込順）
※各年度において、申込みが予算の範囲を超えると受付終了となります。

◎実施期間

令和3年度から令和5年度（3年間）

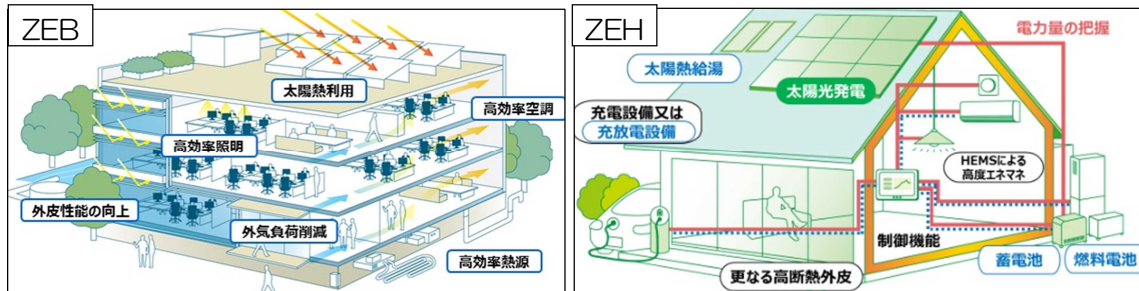
【お問い合わせ】

日高川町設備維持課 TEL 22-1700
 中津地場振興課 TEL 23-9503
 美山地域振興課 TEL 23-9505

出典：日高川町ホームページ コスモエコパワー地域貢献プロジェクト補助金

3. 建物・住宅の脱炭素化

- ・断熱性能の強化、再エネ導入と合わせた ZEB・ZEH 化を実現することで、建物・住宅の脱炭素化を目指します。
- ・将来的には公共施設や住居の新築において、ZEB・ZEH 化が一般的となっており、既存のものについては更新・改築時に省エネ性能を向上させることを目指します。



出典：資源エネルギー庁 省エネポータルサイト

4. 交通の脱炭素化

- ・自動車の買い替え時には、ハイブリッド車、EV を選択します。将来的には EV、FCV に移行します。
- ・公共交通機関の利用、自転車、電動アシスト付き自転車の利用を促進します。

5. 木質バイオマスの活用

- ・町内の施設において、木質バイオマスボイラー・ストーブの導入を促進します。
- ・将来的には暖房や給湯に木質バイオマスボイラー・ストーブが広く実装されていること、木質バイオマス発電が地域のエネルギー地産地消に貢献することを目指します。
- ・町内林業事業者等と連携し、木質バイオマス燃料供給体制の構築を目指します。



出典：日高川町ホームページ 自然エネルギーの町づくり

6. 森林吸収・木材利用の促進

- ・森林経営活動（間伐・植栽等）の活性化を図り、温室効果ガスの森林吸収を促進します。
- ・森林吸収による削減量を排出量取引で売却し、林業の新たな収入源とすることで地域振興を図ります。
- ・公共施設での利用を含め、町内での木材利用促進を図ります。

7. ライフスタイルの見直し

- ・クールビズ、リモートワーク、ごみの減量（リサイクル、過剰包装の廃止等）など、ライフスタイルの見直しを図ります。